

課題及び指導改善に向けて

1 調査問題 1 四

(互いの立場や意図を明確にしながらかつ画的に話し合い、自分の考えをまとめることができるかどうかをみる問題)

(1) 課題が見られた問題について

〔話し合いの様子の一部〕

岡さん 学校の近くの公園は、広くて遊具があり、一年生のころから遊んでいる場所です。私は、今まで使ってきた公園を自分たちできれいにするので、もっとたくさんの人に気持ちよく使ってもらえるようにしたいです。私自身、どうすればよいか考えているところですが、みなさんはどんなアイデアがありますか。

谷原さん 私は、公園に行くと、おかしなふうろやペットボトルがいつも落ちてることがあります。そこで、ごみを拾うきかがあるかよいと思います。「アきかい」というのは、ロボットのごみ拾いではなく、活動する時間のことです。

山下さん 公園のごみを拾うことは、すぐにできるのでよいと思います。でも、続けることは難しい気がします。私は、この公園には花が少ないので、許可をもらって、もっとたくさんのお花を植えれば、はなやかな感じになると思います。

谷原さん 確かに、山下さんの言うとおり、花を植えることは私たちにもできるし、はなやかになり、よいと思います。ただ、こまめに公園へ行って花の水やりなどの世話を続けることも難しいですね。

山下さん その点については、もう少し考えていきたいと思っています。

前田さん 私は、公園の遊具のベンキをぬり直したいと思っています。

中村さん ウとして、公園の遊具のベンキをぬり直すことが必要なのですが。

前田さん 公園のすべり台やジャングルジムは、できてから時間がたっていて、どれも暗い感じがします。そこで、自分たちだけでできるかどうかは気になりますが、明るい感じにするために赤色や黄色のベンキで、ぜひぬり直したいと思っています。

中村さん なるほど、いいアイデアですね。ベンキをぬり直して明るくすると、公園がきれいになるということですね。

岡さん こうして、みなさんの話を聞いてみると、どれも公園をきれいにするためのアイデアですね。

中村さん 今までの話し合いで出たアイデアについて、よい点と問題点に分けて〈メモ〉をしてみました。

私は、公園が明るくなるので、ベンキをぬり直すことがよいと考えました。できるかどうかは分からないという問題点については、公園を管理している人や家の人に相談するとよいと思います。

アイデア	○よい点	△問題点
ごみ拾い	○ごみがなくなる	△続けることがむずかしい
花植え	○はなやかになる	△世話を続けることがむずかしい
ベンキぬり	○明るくなる	△できるかどうかは分からない

みなさんのアイデアや〈メモ〉から、取り組みやすいという理由で、私は、
S (話し合いが続く) S

〔条件〕
○「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選び、その問題点についての解決方法を考えて書くこと。
○「話し合いの様子の一部」から言葉や文を取り上げて書くこと。
○書き出しの言葉に続けて、五十字以上、八十字以内にまとめて書くこと。なお、書き出しの言葉は、字数にはふくまない。

この問題は、資料を読んで、公園をきれいにするための「ごみ拾い」か「花植え」かのどちらかを選んで自分が岡さんならどのように話すか、その内容を3つの条件(○どちらかを選び、選んだ活動の問題点についての解決方法を書く、○【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げて書く、○書き出しの言葉に続けて50字以上80字以内にまとめて書く)に合わせて書くことが求められています。正答率は5割を超えましたが、3人に1人が、どちらかを選んで【話し合いの様子の一部】から言葉や文を取り上げているものの、選んだアイデアの問題点に対する解決方法を書いていませんでした。「ごみ拾い」と「花植え」どちらのアイデアにも問題点があることを捉え、問題点についての具体的な解決方法を考えるという話し合いの目的意識が薄いまま解答したためと考えられます。

(2) 指導の改善・充実に向けて

グループの話し合いの中で、中村さんは出されたアイデアをよい点と問題点に分けて〈メモ〉し、その〈メモ〉をもとに問題点を踏まえ、岡さんが発言する直前に意見を述べています。友だちの意見を聞き、出された意見を踏まえて自分の考えをまとめると、説得力が増します。自分に合った方法で情報を整理しながら、自分と異なる意見のよさに目を向けて考えることで、自分の考えに広がりや深まりが生まれます。

コロナ禍で、グループ活動の経験の少なさが影響している児童と考えられます。意図的にペアやグループで話し合う場面を設定し、問題点を自分のこととして考え、ベストでなくともベターな答えを練り上げて伝え合う活動を積み重ねたいものです。言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを意識して、日々の指導に当たることが大切です。

2 調査問題 3 二

(文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つけることができるかどうかをみる問題)

(1) 課題が見られた問題について

この問題は、【文章2】のよさを見付け、【文章2】から言葉や文を取り上げて書くことが求められています。「聞いたことや経験したことをもとにしていること」や「最後の段落にがんばりたいことを具体的に書いていること」などが、【文章2】のよさであり、それに気付くことが必要な力となりますが、正答率は約4割にとどまっています。回答の約3割は、【文章2】から言葉や文を取り上げて書いているものの、よさについて、「聞いたことや経験したことをもとにしていること」を書くことが不十分であったり、最後の段落のがんばりたいことを具体的に書けていなかったりしたことなどが、正答につながらない要因となっています。また、書き直した【文章2】の書き出しについて問われる問1の問題で、約4割が誤った回答を選択していることから、文章全体の構成や書き表し方に着目して文章を捉えることにも課題があることが考えられます。さらに、100字以内にまとめる字数制限に難しさを感じている児童もいると考えられます。

【文章2】

わたしがこの一年間でがんばりたいことは、運動委員としてみんなのことを考えた新たな活動を進めることです。

そう考えたのは、五年生の時、美化委員長の南さんが卒業する前に話してくれた、活動への思いがすばらしいと思ったからです。南さんは、みんなにそうじ用具の正しい使い方を教えてほしいという思いをもち、正しく使うことができている学級の様子をアフレコして、各学級にようかいしたそうです。

この話を聞き、五年生の時にさいばい委員会では自分が行った活動をふり返りました。そして、当番の日に水やりをするだけで、南さんのように、みんなのために新たな活動を提案できなかったことをいばいせしました。

わたしは今年、運動委員になりました。運動が苦手な人もうししたしむことができるように、ルールや道具をくふうした、おに遊びやボールゲームを各学級にようかいしたいです。

(2) 指導の改善・充実に向けて

自分の文章のよいところを見付けるためには、文章全体の構成や展開が明確になっているかななどの観点から、具体的に感想や意見を伝え合うことが大切です。文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見付ける指導の充実として、互いの書いた文章を読み合い、目的や意図に応じた文章の構成や展開になっているかななどについて、具体的に伝えるような場の設定を工夫することが効果的です。例えば、学習の中で、新聞づくりや見学のまとめ等、限られた字数で考えをまとめるような活動を通して、必要な部分の抜粋や文章を書く時の構成、相手に伝わりやすい文章を書く必要感が生まれることも考えられます。他教科において書いた文章を読み合う場面でも、よさを見付け合う活動を展開することが考えられます。様々な場面で日常的に行うことで、自分の文章を読み返したり、そのよさを見付けたりする態度が習慣化されることが期待されます。また、文章を整えるためには、文章全体の構成や、書き表し方に着目して推敲することが必要であり、推敲する際には、「題材の設定、情報の収集、内容の検討」「構成の検討」「考えの形成、記述」を指導事項の観点として明確にすることも大切です。

3 調査問題 3 四

(漢字や仮名の大きさ、配列に注意して書くことができるかどうかをみる問題)

(1) 課題が見られた問題について

この問題は、「相手の読みやすさを考えて、行の中心にそろえて書く」という配列について捉えることが求められています。「文字の大きさ」や「文字と文字との間」に注意して書くことについては理解していますが、島谷さんが、「行の中心に文字の中心をそろえて書くこと」に気をつけて書き直していることを捉えることのできなかつた児童がいました。

島谷さんが書き直すときに気をつけた内容として最も適切なものを、あとの1から4までの中から一つ選んで、その番号を書きましよう。

① うららかな春の日が続いています。

② わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

③ うららかな春の日が続いています。いかがお通こしてしようか。わたしは今年、六年生としてがんばりたいことがあります。

④ 行の中心

(2) 指導の改善・充実に向けて

読みやすい文章を書くには、一文字一文字を整えることに加え、文章全体の文字の集まりという面から捉え、整えることが重要です。手紙を書く活動など、漢字や仮名の大きさや配列に注意して各場面を設定したり、毛筆で学習したことを日常生活で生かすことを意識できるような工夫をしたりして指導することが大切です。表音文字、表意文字としての平仮名、片仮名、漢字を組み合わせる文章を書くということは、日本特有の文化であることも伝えていきたい内容です。